



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 エージーピー
 コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日岡 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 竹山 哲也

TEL 03-3747-1631

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,729	26.1	287		247		174	
2020年3月期第3四半期	10,463	7.0	805	3.9	830	7.7	567	30.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 170百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 567百万円 (0.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	12.52	
2020年3月期第3四半期	40.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,151	9,090	64.2
2020年3月期	14,699	9,372	63.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,090百万円 2020年3月期 9,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		5.00		8.00	13.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、引き続き未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,553	35.2	816		758		808		57.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社エージーピー開発
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	13,950,000 株	2020年3月期	1,395,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,062 株	2020年3月期	2,062 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	13,947,938 株	2020年3月期3Q	13,947,938 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により個人消費や企業活動が停滞し、緊急事態宣言解除後に政府による経済対策等で一部持ち直しの動きが見られましたが、新型コロナウイルス感染症収束の兆しが見えておらず、依然として予断を許さない状況が続いております。

航空業界におきましては、コロナ禍で旅客需要が低迷し、航空会社の経営に甚大な影響を与えており、この状況は更に長期化することが懸念されます。

本状況下における当社業績は、主力事業である動力事業が減収となり、売上高合計は77億29百万円と前年同期比27億33百万円(26.1%)の減収となりました。

営業費用につきましては、グループ会社再編に伴う、賃金制度の見直しによる人件費の増加があったものの、業務の効率化等による費用の抑制を図ったこと、動力事業および整備事業の減収に伴う原材料費の減少や、賃借料の減免等により、80億17百万円と前年同期比16億40百万円(17.0%)の減少となりました。

以上により、営業損失は2億87百万円(前年同期 営業利益8億5百万円)、経常損失は2億47百万円(前年同期 経常利益8億30百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、グループ会社再編に伴う退職給付引当金を上期に親会社に移管したことにより、繰延税金資産を計上した結果、法人税等調整額が減少し、1億74百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益5億67百万円)となりました。

なお、期初より取り組んでいます緊急的なコスト抑制策の完遂と働き方見直し等を含めた業務改善および効率化を更に加速させることで、より一層の収支改善を図って参ります。

各セグメントの業績は次のとおりです。

① 動力事業

コロナ禍において国際・国内ともに航空需要は大幅に縮小し、国内線は政府の各種施策等が実行されたことにより、一時的に回復傾向が見られましたが、国際線の旅客便は回復が遅れており、引き続き厳しい状況が継続しました。

一方で、国際貨物便が堅調に推移したことや、運航便の駐機時間が伸びたことによる、1便当たりの当社設備使用時間が増加したこと等により、売上高は24億98百万円と前年同期比19億74百万円(44.1%)の減収にとどまりました。

セグメント損失は、管理可能経費の削減や業務の効率化による人件費の抑制を行ったものの、1億47百万円と前年同期比11億89百万円(前年同期 セグメント利益10億42百万円)の減益となりました。

② 整備事業

空港外業務の拡大施策として、物流関連設備の設置工事等への技術者派遣を積極的に進めたものの、空港内の既存業務はコロナ禍により設備稼働の低下や整備工事等が減少したことに伴い、旅客手荷物搬送設備および旅客搭乗橋設備の保守管理業務契約が減額となり、更に施設設備の改修・更新工事が大きく減少したことにより、売上高は32億92百万円と前年同期比8億85百万円(21.2%)の減収となりました。

セグメント利益は、管理可能経費の削減や外注工事等の内製化および業務の効率化による人件費の抑制を行ったものの、3億89百万円と前年同期比1億8百万円(21.7%)の減益となりました。

③ 付帯事業

コロナ禍で空港を中心としたセキュリティ機器の稼働が低下したことに伴い、保守管理業務の契約が減額になったことや、顧客の経営悪化によりフードコート販売が減少した一方で、GSE等販売事業においては、パッセンジャーボーディングリフト等の機材販売が増加したことにより、売上高は19億38百万円と前年同期比1億27百万円(7.0%)の増収となりました。

セグメント利益は、工場野菜生産・販売事業の事業譲渡に加え、管理可能経費の削減や、業務の効率化による人件費の抑制を行ったことにより、1億27百万円と前年同期比1億45百万円(前年同期 セグメント損失17百万円)の増益となりました。

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益又は損失 (△)		
	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	前年同期比 (%)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	前年同期比 (%)
動力事業	4,473	2,498	55.9	1,042	△147	—
整備事業	4,178	3,292	78.8	497	389	78.3
付帯事業	1,811	1,938	107.0	△17	127	—
合計	10,463	7,729	73.9	1,522	369	24.3
全社費用*				716	657	91.7
営業利益又は 営業損失 (△)				805	△287	—

*全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末比4億79百万円（6.2%）減少の71億94百万円となりました。これは、受取手形及び営業未収入金が14億41百万円、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品が1億11百万円、前渡金が1億86百万円減少し、現金及び預金が12億31百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比68百万円（1.0%）減少の69億57百万円となりました。これは、有形固定資産が2億97百万円、無形固定資産が15百万円減少し、投資その他の資産が2億45百万円増加したことによります。

この結果、総資産は前期末比5億47百万円（3.7%）減少の141億51百万円となりました。

(負債)

流動負債・固定負債は、前期末比2億65百万円（5.0%）減少の50億61百万円となりました。これは、営業未払金が2億67百万円、未払法人税等が3億11百万円、未払金が4億79百万円、未払費用が4億4百万円減少し、賞与引当金が2億82百万円、流動負債・固定負債を合算した借入金が9億30百万円増加したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は、前期末比2億82百万円（3.0%）減少の90億90百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益、期末配当を加減算した結果、利益剰余金が2億86百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

コロナ禍において、世界経済、国内経済へ甚大な影響を与えており、また感染症の更なる拡大も懸念され、今後の当社業績についても予断を許さない状況が続いているものの、現時点において2020年5月29日に発表しました通期業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,422,500	4,653,877
受取手形及び営業未収入金	2,806,959	1,365,708
電子記録債権	11,661	—
商品及び製品	268,217	184,176
仕掛品	92,781	92,974
原材料及び貯蔵品	642,891	615,436
前渡金	198,918	12,126
前払費用	157,928	165,561
その他	71,872	108,016
貸倒引当金	△146	△3,587
流動資産合計	7,673,585	7,194,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,415,141	11,332,077
減価償却累計額	△8,946,034	△9,052,879
建物及び構築物（純額）	2,469,106	2,279,197
機械装置及び運搬具	10,643,654	10,627,951
減価償却累計額	△7,745,626	△7,872,230
機械装置及び運搬具（純額）	2,898,028	2,755,721
土地	110,608	110,608
リース資産	21,393	31,156
減価償却累計額	△19,858	△3,460
リース資産（純額）	1,535	27,696
建設仮勘定	250,944	270,244
その他	594,574	585,816
減価償却累計額	△530,211	△531,934
その他（純額）	64,363	53,882
有形固定資産合計	5,794,586	5,497,349
無形固定資産		
特許権	4,916	918
ソフトウェア	55,885	59,461
ソフトウェア仮勘定	27,800	13,150
その他	10,480	9,604
無形固定資産合計	99,082	83,133
投資その他の資産		
投資有価証券	218,296	211,709
繰延税金資産	464,169	720,748
敷金及び保証金	199,536	188,732
長期前払費用	14,614	11,165
退職給付に係る資産	233,340	243,595
その他	2,145	1,265
投資その他の資産合計	1,132,103	1,377,217
固定資産合計	7,025,772	6,957,700
資産合計	14,699,357	14,151,991

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	927,177	659,687
1年内返済予定の長期借入金	111,664	67,964
リース債務	786	6,779
未払法人税等	312,725	1,676
未払消費税等	87,819	201,894
未払金	611,166	132,146
未払費用	657,582	253,254
賞与引当金	—	282,072
その他	252,207	57,204
流動負債合計	2,961,129	1,662,679
固定負債		
長期借入金	180,726	1,154,744
リース債務	926	23,795
製品保証引当金	5,318	3,681
退職給付に係る負債	2,099,831	2,161,450
資産除去債務	78,622	55,019
その他	152	242
固定負債合計	2,365,578	3,398,933
負債合計	5,326,707	5,061,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	7,288,531	7,002,254
自己株式	△773	△773
株主資本合計	9,441,208	9,154,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	732	△3,543
為替換算調整勘定	△1,035	△1,048
退職給付に係る調整累計額	△68,254	△59,961
その他の包括利益累計額合計	△68,557	△64,553
純資産合計	9,372,650	9,090,377
負債純資産合計	14,699,357	14,151,991

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自2019年4月1日 至2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自2020年4月1日 至2020年12月31日）
売上高	10,463,230	7,729,903
売上原価	8,750,095	7,319,290
売上総利益	1,713,134	410,612
販売費及び一般管理費	907,192	697,925
営業利益又は営業損失（△）	805,942	△287,312
営業外収益		
受取利息	16	12
受取配当金	5,530	1,192
保険配当金	489	798
保険事務手数料	729	721
持分法による投資利益	12,743	—
為替差益	5,312	4,666
資産売却益	—	3,818
受取補償金	3,700	10,023
雇用調整助成金	—	48,763
その他	1,505	1,785
営業外収益合計	30,028	71,783
営業外費用		
支払利息	2,380	2,525
減価償却費	—	9,242
補償関連費用	—	4,652
持分法による投資損失	—	4,423
たな卸資産廃棄損	—	4,292
障害者雇用納付金	1,080	2,950
その他	1,923	3,626
営業外費用合計	5,383	31,713
経常利益又は経常損失（△）	830,586	△247,242
特別利益		
固定資産売却益	0	50,396
特別利益合計	0	50,396
特別損失		
固定資産除却損	11,804	10,732
新型コロナ関連損失	—	111,654
特別損失合計	11,804	122,386
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失（△）	818,783	△319,232
法人税、住民税及び事業税	220,874	113,908
法人税等調整額	30,483	△258,447
法人税等合計	251,358	△144,539
四半期純利益又は四半期純損失（△）	567,424	△174,693
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	567,424	△174,693

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	567,424	△174,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,237	△4,275
為替換算調整勘定	2,144	△12
退職給付に係る調整額	13,048	8,292
その他の包括利益合計	△44	4,004
四半期包括利益	567,380	△170,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	567,380	△170,689

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結子会社である株式会社エージーピー北海道、株式会社エージーピー開発、株式会社エージーピー関西、株式会社エージーピー九州は、2020年12月2日付で清算が終了したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「流動負債」の「未払費用」に含めていた従業員に対する賞与について、連結財務諸表作成時に支給金額の確定が困難となってきた状況を踏まえ、当連結会計年度より支給見込額を「賞与引当金」としております。なお、前連結会計年度の「流動負債」の「未払費用」に含まれる従業員賞与の金額は、462,551千円であります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	4,473,361	4,178,330	1,811,537	10,463,230
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,062	134	152,343	153,541
計	4,474,424	4,178,465	1,963,881	10,616,771
セグメント利益又は損失(△)	1,042,301	497,985	△17,933	1,522,353

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,522,353
全社費用(注)	△716,410
四半期連結損益計算書の営業利益	805,942

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	2,498,631	3,292,457	1,938,814	7,729,903
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,498,631	3,292,457	1,938,814	7,729,903
セグメント利益又は損失(△)	△147,569	389,794	127,676	369,902

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	369,902
全社費用(注)	△657,215
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△287,312

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。